

■ 受け取り方法



受け取りまでの流れ

申込方法

下記申込先に直接、あるいは電話・ファックス・メールにて本人の「住所、氏名、生年月日、電話番号」、を連絡します。また、18歳未満の場合は保護者名もお願いします。

受け取り

申込先で直接、あるいは学校・サービス事業所等で受け取ることができます。

関係機関等	電話	F A X	メールアドレス
総合相談支援センター「ぶりすむ」	36-7571	32-4372	qqps7ar9@poppy.ocn.ne.jp
生活支援センター「ふなき」	67-2464	67-2467	center@funaki-furoukai.jp
宇部市障害者生活支援センター「びあ南風」	31-5151	31-5160	pianan1@circus.ocn.ne.jp
宇部市教育委員会 特別支援教育推進室	34-8625	22-6066	t-sien@city.ube.yamaguchi.jp
宇部市保健センター（健康推進課）	31-1777	35-6533	hose@city.ube.yamaguchi.jp
宇部市健康福祉部 障害福祉課	34-8522	22-6028	syou-fuku@city.ube.yamaguchi.jp

■ よくあるご質問



◎発達障害児・者ではないが、『パーソナル手帳』を受け取ることはできますか？

必要に応じて発達が気になる方も受け取ることができます。

◎『パーソナル手帳』の一部分のページだけ欲しい。

『パーソナル手帳』の各ページは宇部市障害福祉課のホームページよりダウンロードできます。また、ページが不足した場合も必要なページを印刷してご利用ください。

ホームページアドレス
http://www.city.ube.yamaguchi.jp/kosodate/kosodatehien/hattatsu/personal_techou.html

◎保護者より関係機関が記入するシートに記入して欲しいと依頼があったが、どういった内容を記入したらよいか分からない。

保護者と相談しながら分かる範囲内で記入いただいた上で、上記関係機関等へお問い合わせください。ご協力をお願いいたします。

◎すべてのページに記入しないといけないの？

必要なページだけでも構いません。まずは記入しやすいところから少しずつ記入をしてみてください。

コミュニケーションボード（店舗用）

ことばでのコミュニケーションが苦手な障害のある人の、社会参加を促進するとともに、地域の方々に発達障害への理解を進めるために作成しました。イラストを指さすことで、伝えたいことを表現できます。本人がよく行くお店に置いてもらいます。『パーソナル手帳』と同じく、上記6つの機関で配布をしています。



【お店の方へ】
 発達障害のある人への支援を進めるため、このボードの設置に、ぜひ御協力ををお願いします。

発行／宇部市健康福祉部障害福祉課
 宇部市常盤町一丁目7番1号
 tel.0836-34-8314 fax.0836-22-6028
 発行日／2011年（平成23年）9月
 協力／宇部市発達障害児を支えるネットワーク協議会

ご存じですか？

発達障害児・発達障害者の方のための

パーソナル手帳

うまくいっていることを
 進級・進学・就職しても
 引き継いで欲しい

周囲にどんな支援者が
 いるんだろう？

関係機関との
 情報共有が難しい…

パーソナル手帳

人や場所が変わる度に
 同じことを伝えないと
 いけない

本人の特徴を
 どう伝えたいの？

そんな”モヤモヤ”を解決します！

発達障害児・発達障害者の方の
 乳幼児期から成人期までの情報を1冊にまとめておくことで、
 転居や就学・進学、就職など環境が変化する時に
 支援機関への情報伝達をスムーズにするために作成しました。



宇部市 障害福祉課
 協力／宇部市発達障害児を支えるネットワーク協議会

「パーソナル手帳」って何？



パーソナル手帳とは？



発達障害児や発達障害者の方の乳幼児期から成人期までの情報を1冊にまとめておくことで、転居や就学・進学、就職など環境が変化する時に支援機関への情報伝達をスムーズにするための手帳です。



配布対象者は？



宇部市に居住している発達障害児の保護者及び発達障害者等、必要に応じて、発達などについて気になっている方
 ※発達障害:自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害など



パーソナル手帳の目的は？



- ①情報の蓄積、一元化…… ライフステージごとの情報を一貫して保存できる。
- ②スムーズな情報伝達…… 所属先が変わるたびに関係者に始めから説明をしなくてすむ。
- ③情報共有…… 関係機関同士の情報共有がしやすくなり、本人とのよりよい関わり方に役立つ。
- ④役割の明確化…… 関係機関同士の役割が分かりやすくなる。

ライフステージが変わるにつれて本人の状況や周囲も変化していきます。「パーソナル手帳」を上手に活用して、よりスムーズな情報伝達にお役立てください。



活用方法と活用例

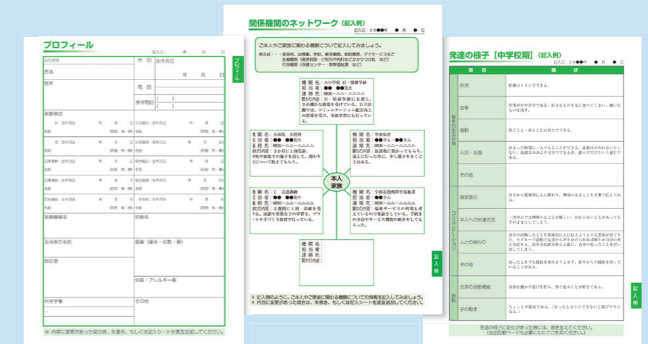
「ご本人および保護者が記入するシート」「関係機関の方が記入するシート（緑色の記入シート）」の2種類があります。手帳は本人もしくは保護者が管理を行い、使い方は自由です。

ご本人および保護者が記入するシート

- ◎プロフィール、本人に関する基本情報
- ◎関係機関のネットワーク
ご本人やご家族を支援している機関を記載します。
- ◎生活マップ
ご本人が安心して出かけられる・よく利用する場所、関わりのある人などを記載します。
- ◎発達の様子
(乳幼児期・小学校期・中学校/高等学校期・成人期)
それぞれご本人の発達の様子や特徴について記載します。
- ◎本人のあゆみ(所属)
これまで所属した機関(保育園・幼稚園・通園施設・学校・勤務先・施設など)を記載します。
※関係機関と相談・協力して記入してもかまいません。

関係機関の方が記入するシート（緑色の記入シート）

- ◎本人のあゆみ
受診・検査歴、相談歴、療育・訓練利用歴、福祉サービス歴
※検査結果や個別支援計画表、記録等も一緒に入れておきましょう。



関係機関の皆様へ
 ご本人および保護者が、この手帳への記入を依頼した際には、可能な範囲でご協力ください。ただし、個人情報の取り扱いには、ご注意ください。

活用例 01



Aさん(6歳) 自閉症

ご両親より

今回、自閉症という診断を受けました。保育所の先生やお世話になっている近所の人に自分たちではうまく説明ができないので、主治医の先生や相談機関の人に記入をしていただいた本人の特徴を見てもらいました。また、自分たちで記入していくことで本人のこを見つめ直す機会になっています。

活用例 02



Bさん(小4) 脳性麻痺 療育手帳A

お母様より

トイレや食事などに介助が必要です。介助の仕方や注意する点を記入して担任の先生やデイサービスの職員へ見てもらいました。自分でできることも増えてきているので、状況が変わった際には訂正をしています。本人の成長記録として活用しています。

活用例 03



Cさん(高3) 療育手帳B

福祉サービス事業所職員より

卒業後は福祉サービス事業所を利用する予定です。本人は環境の変化に弱く、些細なことでパニックを起こしやすいです。卒業後のスムーズな事業所の利用に向けて本人の特徴や家庭や学校での関わり方を参考にしています。本人や家族を支える関係機関が分かり、何かあった際には相談できるので安心です。